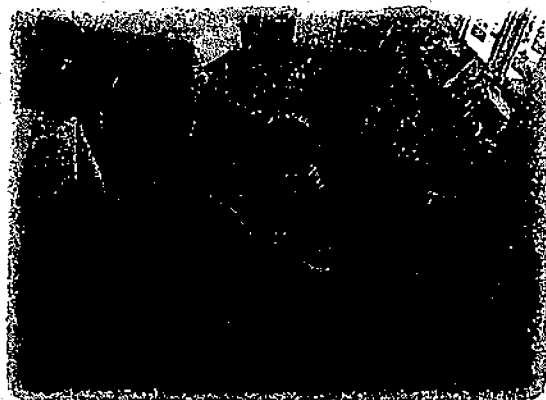
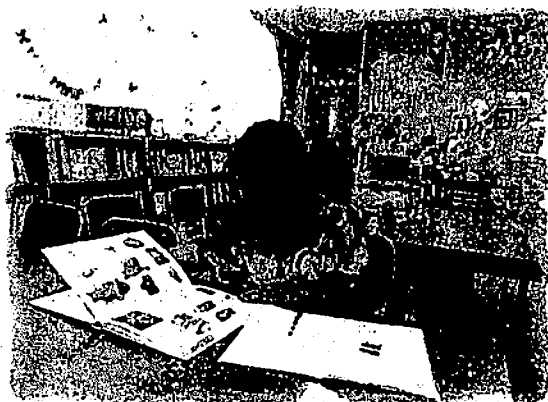


**研究主題**

**国語科を中核にした学校図書館活用の活性化**

**- テーマ読書や読書活動を通して -**



## はじめに

本提案は昨年度長期研修生として、前在籍校の印西市立宗像小学校で実践させていただいた内容である。国語科の「読むこと」の課題として、「複数の情報を関連付けて理解を深めること」が挙げられている。この改善策として、教科書教材だけではなく、学校図書館を活用して複数のテキストを用いた単元を構成したり、全校児童や全職員の読書生活が充実するような日常の読書活動を組織したりした。これらにより異学年や教員間に本を介したコミュニケーションが見られ、学校図書館活用の活性化が図られた。

小規模校での学校図書館を活用した国語科を中心とした授業と読書活動の実践を再度まとめ直し、学校図書館活用の活性化の手立ての一つとして提案させていただく。

## 1 研究主題

### 国語科を中核にした学校図書館活用の活性化 —テーマ読書や読書活動を通して—

## 2 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領から

中央教育審議会答申において、「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力を高める重要な活動の一つである。」とされたことを踏まえ、小学校学習指導要領（平成29年告示）の「国語科の改訂の趣旨及び要点」では、改善の視点の一つとして「読書指導の改善・充実」が挙げられている。これを受けて、各学年において、国語科の学習が読書活動に結びつくよう〔知識及び技能〕に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動が示された。また、総則では、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること」が挙げられている。学校図書館を読書センターとしてだけでなく、国語科を中核に学習センターや情報センターとして活用することが、これからの社会で生きて働く複数の情報から自分の考えを形成する能力の育成に有効であると考えた。

### (2) 児童・学校の実態

印西市立宗像小学校は、平成31年度において閉校を迎えたが、全校児童20名の小規模校であった。全校児童の仲がよいが、人と人との関わりが希薄で、活気にかける面が大きかった。また、学力向上の手立てとして読書活動の充実が挙げられているものの、実際には、あまり学校図書館が活用されていなかった。学力向上のためにも、学校図書館を活用して読書活動を充実させることは重要である。さらに、宗像小学校のような小規模校においては、学校全体の活性化を図るためにも、学校図書館を中核にした異学年交流を促すような読書活動を重要視する必要があると考えた。学校図書館の活用を図るためには、担任の影響力が大きい。教員自身が読書活動の有効性を感じ、子供達に働きかけることが欠かせない。だからこそ、児童のみではなく、教員を巻き込んだ読書活動を充実させる必要があると考えた。

### 3 研究の目標

学校図書館の整備と効果的な活用を促す様々な読書活動を構築して読書の基盤づくりをし、テーマを設けて読書を取り入れ、複数のテキストを前提とした授業を行うことを通して、児童や教員の読書に対する関心に変容をもたらし、学校図書館活用の活性化を図る。

### 4 研究の視点

- (1) テーマを設定して作品を紹介したり考えを論じたりするために、学校図書館を活用しテーマに応じた本を集め、読む観点やメモの仕方を押さえて読むといった授業づくりを通して、複数の情報を関係付けて、自分の考えを形成する情報活用能力を育成する。
- (2) 学校図書館を活用した授業が行えるよう関連した本の準備や環境を整備するとともに、様々な読書活動を行っていくことを通して、児童・教員の学校図書館や読書に対する関心を高め、学校図書館活用の活性化を図る。

### 5 授業の実際

第1単元「宗像小学校図書館についてくわしくなろう」 全校学習

#### 単元の目標

低学年：読書に親しみ、学校図書館にはいろいろな本があることを知ることができる。

【知識・技能(3)読書エ】

中学年：幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。

【知識・技能(3)読書オ】

高学年：日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

【知識・技能(3)読書オ】

#### 単元計画(3時間扱い 国語2 特別活動1)

学習過程	ねらい	学習活動			学習材
第1時 日本十進分類法を理解する。	○本探しをすることでいろいろな本があることに気づき、関心をもつことができる。 ○日本十進分類法について理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに従い、指定された作家の作品を探す。</li> <li>日本十進分類法について知る。</li> <li>指定の本を探し、奥付を見て出典を書く。</li> </ul>			ワークシート 図書館案内図
第2時 本探しをして、配架の理解を深める。	○縦割り班ごとに本探しゲームや読み聞かせ及びクイズを行うことで、いろいろな本があることに気付いたり、本の楽しさを分かち合ったりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦割り班ごとに本探しゲームを行う。全員が分類法に慣れるよう交代して本を探す。</li> <li>馬場のぼるの『11ぴきのねこ』シリーズの本を探し、6年生が読み聞かせをする。</li> </ul>			ワークシート 学校図書館の本
第3時 目次や索引、奥付を活用する。	○学年に応じて、目次や索引を使って、課題について調べることができる。 ○奥付を見て、出典を明記する。	1・3・4年	5年	6年	ワークシート 学校図書館の本
		<ul style="list-style-type: none"> <li>動植物や昆虫図鑑を使い課題を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方言の事典を使い調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>故事成語の語源を調べる。</li> </ul>	

**第2時 7月12日(木) 1校時全校児童**

**(1) 目標**




- 分類番号を手がかりに、指定された本を見つけ、分類法について理解を深めることができる。
- 縦割り班ごとに本探しや読み聞かせ及びクイズを行うことで、いろいろな本があることに気付いたり、本をみんなで楽しんだりすることができる。

**(2) 展開**

時配	学習活動と内容	○指導上の留意点 ◎評価
5	1 本時の学習の流れを知り、見通しをもつ。	○本探しと読み聞かせを聞いてクイズを行うことを伝え見通しをもたせる。 ○自分で考えて活動できるよう、一題ごとに担当を決めて本を探させる。 ○1年生が戸惑っている場合には、6年生と一緒に探してもよいことを声かけする。 ○様々なジャンルの本に目がいくように出題する。 ○すばやく探し出していた児童に、探すコツを聞いて他に周知させ、前時学習したことが生きていることを大いに褒める。 ◎分類番号から探している本のありそうな場所に見当をつけ、題名や目次等を見ながら当てはまる本を探すことができたか。 ○本探しで探し出した「馬場のぼる」の本を6年生に読み聞かせさせるが、練習したわけではなく初めて読むことを伝え、受容的な聞き方ができるよう促す。 ◎読み聞かせを楽しんで聞いたり、協力してクイズに答えたりすることができたか。 ○日本十進分類法での配架を確かめながら、使った本をもとの場所に返す。
15	2 縦割り班対抗「本さがしゲーム」を行う。 ・「馬場のぼる」の本 ・乗り物の本 ・海の生き物についての本 ・ボランティアについて書かれた本 ・戦争や原爆のことがわかる本など10問	
20	3 6年生が読み聞かせをして、その後クイズを解く。 2の活動で選んだ11ぴきのねこシリーズ 『11ぴきのねこ』 『11ぴきのねことへんなねこ』 『11ぴきのねことあほうどり』 『11ぴきのねことどろんこ』	
5	4 活動を振り返る。	

**<学習活動2での児童の様子>**

- 3年生以上は、前時に日本十進分類法の学習をした成果があり、探す本がある棚にすぐに行くことができた。しかし、前時は指定された番号の本を、ラベルを見て探せばよかったが、本時は分類番号だけではなく「海の生き物」「ボランティア」「職業」といった指定された内容が書かれた本を探すので、背表紙や目次等を確認することが加わり時間がかかる児童も見られた。指定された言葉自体や「職業」「戦争」に具体的にどんな本があるのかわからない場合があった。適宜、担任や上級生に聞く姿が見られた。
- 1年生は、6年生と一緒に探してよいこととした。6年生は学習したことを教えながら、一緒に本を探すことができた。


とよみん図書館ゲームを楽しもう



No.	本の題名	読んだ人(名)	読んだ人
1	馬場のぼるの本		
2	海の生き物		
3	乗り物		
4	ボランティア		
5	戦争		
6	原爆		
7	職業		
8	11ぴきのねこ		
9	11ぴきのねこ		
10	11ぴきのねこ		



ラベルの見方を1年生に教える6年生



指定された絵本を探す児童達



<学習後の感想：本を探す時に気がつけたことやわかったこと>

○分類番号+背表紙 5名

「分類番号を見て探すとわかりやすい」「背表紙を見て確かめた」

○分類番号+棚の見出し 4名

「分類番号を見て、さらに見出しを見て探した」

○ラベル 3名

「ラベルの作者名の頭文字を確かめた」

○分類番号+見出し+本の内容 2名

「本当にあっているのか、中を確かめた」「目次など」



『11ぴきのねこ』クイズの回答発表をする児童

<成果>

○前時の学習を生かし、「あの棚だな」とほとんどの児童がすばやく探し出すことができた姿から、十進分類法について理解が深まったといえる。

○縦割り班で行うことにより、下学年への気遣いができる児童の姿が、下学年は上学年にわからないこと聞く姿が見られ、全校で学習することの効果を感じた。

<課題>

●「職業」「戦争」に関しては、どんな言葉がそれに当てはまるのかを知らない児童が多く、どんな本があるのか例示して認識を広げられるようにすると、新たな言葉を知る機会となったと考える。

<学習活動3での児童の様子>

○予告なしで6年生に読み聞かせをお願いしたが、縦割り班という少ない人数のため、「班ごとなら大丈夫」と安心して読み聞かせをする児童が見られた。

○6年生が一生懸命読んでいることと、聞き終わったらクイズに答えてもらうことを伝えたため、どの班もじっくり絵を見ながら聞いていた。



<成果>

○「同一作家の絵本を班別で読みきかせをし、クイズに解答する」という形式は、「本の楽しさを知る」「作家を知る」ことができ、有効であった。

#### 単元全体を通じた成果と課題

縦割り班での全校学習では異学年交流が見られた。楽しく活動する中で、学校図書館活用に関する知識を身に付けることができた。また、教員の学校図書館活用に関する意識を向上させることができた。

課題としては、全員で創る授業にするために、全担任が一役を担い、授業を構築していく必要がある。

## 単元目標

- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。  
【思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)イ】
- 場面の移り変わりや結び付けて、登場人物の人物像を具体的に想像することができる。  
【思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)エ】
- 登場人物の相互関係や心情の変化等の描かれ方に関心を持ち、テーマに合った登場人物が出てくる話を紹介し、読書生活に生かそうとする。  
【主体的に学習に取り組む態度】

## 単元計画(10時間扱い) 10月

学習過程	ねらい	学習活動	学習材
事前学習 夏休み 朝学習 朝読書	○夏休みの読書として、椋鳩十の作品に触れ、動物が描かれた物語であることを知り、読む意欲をもつことができる。 ○休み中に読んだ本を紹介し合うことで、これから朝読書等で読んでいく本の見通しをもつことができる。	・借りた本を読み、感想をもつ。 ・夏休み中に読んだ本について紹介し合う。	椋鳩十全集 童話集
第一次 (1)	○教師作成のモデルを提示し、魅力を伝えるにはどんな観点で読んでいけばいいかを確認し、見通しをもつことができる。	・教師作成のモデルを読む。 ・物語の魅力について意見を出し合う。 ・「大造じいさんとがん」の読み聞かせを聞く。 ・椋鳩十作品を読み、登場人物に着目して全校に紹介することを知り、学習計画を立てる。	教師見本 椋鳩十全集 童話集
第二次 (4)	○「大造じいさんとがん」の作品の特徴を捉え、登場人物の人物像をまとめることができる。 ・構成や展開に着目しながら登場人物の人物像を読む。 ・登場人物の人物像をまとめる。 ・構成に関する学習用語を確認する。 ○ブックトークの台本を書くことができる。 ○全校児童に「大造じいさんとがん」の登場人物の人物像を伝えることができる。	・読みの観点に従い、全文シートやノートに考えをまとめながら読む。 <登場人物の人物像を捉える> <構成を捉える> ・全文シートを使い、残雪の行動描写から人物像をまとめる。 ・全文シートを使い、大造じいさんの行動・会話・情景描写から人物像をまとめる。 ・ブックトークの台本を書き、読み合う。 ・発表の準備・練習をする。(課外)	学習材 全文 シート 学習 ノート 教師見本 語彙のプリント
第三次 (4)	○登場人物の行動や会話、情景描写等に着目して読み、魅力的な登場人物を選び、台本を書くためにメモをすることができる。 ○グループで話し合い、ブックトークの台本を作成することができる。	・親子、飼い主と動物等、だれが、どんな場面でどんな姿が見られるのかを付箋紙に書き留めながら読書をする。 ・見つけた魅力的な登場人物について、グループで検討する。 ・話し合いブックトークの台本を完成させる。	学習ノート 読書記録 教師見本 語彙のプリント
第四次 (1) 授業 15 朝学習 15 ×2	○全校児童に椋鳩十作品の魅力な登場人物を紹介し作品の世界を親しむことができる。 ○本のよさを伝える時に、どんなことに着目して読めばいいか、学習したことを振り返ることができる	・2グループに分かれ、ブックトークをする。 1・3年・特対象 4・6年対象 ・学習したことの振り返りをする。	台本 選んだ作品

<学校図書館での国語科の授業展開>

○グループに分かれ、全文シートを活用して話し合いながら登場人物の人物像を読み解く。



ここに、「残雪は、大群を率いてやってきた。」ってあるけど、ということは、「率いる」んだから、リーダー的だってことがわかるよね。

わたしもそう思う。他にも、「残雪に導かれて」っていうところも、みんなのリーダーという人物像がわかるよ。

<学校司書との連携>

並行読書で椋鳩十作品を読み進めてきたものの、なかなか自分で読み進めることが難しい児童には、学校司書に依頼して読み聞かせを行った。



本時(7/10)の時点で読んだ作品数が6つの児童。(この時点で平均15作品)読む能力に不安があり、なかなか読み進められない。普段は絵本を読んでいることが多い。

学校司書に長めの作品の読み聞かせをお願いした。読み聞かせを聞くことは好きで、よく聞いていた。この日に読み聞かせを受けた作品を、ブックトークで紹介する作品として選んだ。

**児童の感想**

読み聞かせの方が、しっかりと頭の中に入ってくるからいい。聞きながら、すんなり、場面の様子を思い浮かべることができる。「自分で読むか、読み聞かせを聞くか」どちらかを選ぶなら、読み聞かせがいい。

**学校司書の感想**

耳から入ることで、自分ではなかなか読み進められない児童も、話に入り込むことができる。ただ、どれくらい理解しているかは、話しかけたり、メモさせたりしなければわからない。適宜、わかりにくい言葉は説明を加えながら、読み聞かせをした。また、読み終わった後に、どの場面が心に残ったのかをメモするよう声をかけた。すると、すぐに主人公について書いていたので、話の内容が理解できたことが伝わってきた。

<読書履歴一覧表の活用>



必読書はピンク、下学年児童対象作品は青で囲むといった、色分けをした作品一覧表を用意した。読み終わったら、シールを貼るようにした。これを見ると、同じグループの友達が、共通の作品を読んでいるのかを確認しやすくなり、次に読む作品の選択に役立った。

<読書記録>

作品名(題名)	登場人物	印象	心に残った場面・行動・会話
太陽の穴いっか		♡♡	
ブルーのモス		♡♡	
金色の川		♡♡	
ひなよこめんね		♡♡	
輝くまの島		♡♡	
金色の足あと		♡♡	
月の船アマ		♡♡	
ほろし名の カモンカ		♡♡	
森の王冠		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
森の王冠		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
カレモリカ		♡♡	

作品名(題名)	登場人物	印象	心に残った場面・行動・会話
太陽の穴いっか		♡♡	
ブルーのモス		♡♡	
金色の川		♡♡	
ひなよこめんね		♡♡	
輝くまの島		♡♡	
金色の足あと		♡♡	
月の船アマ		♡♡	
ほろし名の カモンカ		♡♡	
森の王冠		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
森の王冠		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
カレモリカ		♡♡	
カレモリカ		♡♡	

魅力的な登場人物が出てくる作品の紹介をするため、読んだ作品の登場人物について記録した。「心に残った登場人物」「印象度」「心に残った場面・行動・会話」を記録の観点とした。

<ブックトーク以外での読んだ本の紹介>

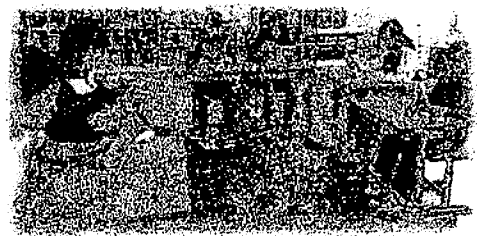
12月になり、5年生がポップや本の帯を作成していた。どの児童も椋鳩十であった。理由を聞くと、「心に残るものが結構あったから。」という答えが返ってきた。心に残る物語と出会えてよかったと思う。私もこの年の夏休みには、かなり椋鳩十作品を読んだ。動物の生きる知恵や気高さを感じることができた。



5年生児童が作成したポップ

<期間限定学級文庫の活用>

この単元の学習中は、学級でも椋鳩十作品がすぐに手が届くようにするために、学級文庫に椋鳩十作品を置いた。身近なところに置くことと、担任に呼びかけをしてもらうことで、読む機会を確保することができた。



朝読書の様子

単元全体を通じた成果と課題

全校で図書祭りに向けて、テーマを設けて並行読書をしていくことで、一冊の本で終わることなく、「次は何を読もうか」「どの話を紹介しようか」といった読書に対する意欲を喚起することができた。また、教員にとっても、図書祭りでの発表があることで教科書教材だけではなく、学校図書館を活用して児童に読ませたい本を選書する姿が見られた。

課題は、やはり児童の実態に応じて、本の選書をどのようにしていくかということである。



放送図書委員会児童が中心となり、国語科の学習成果をもとに、読んだ本を紹介し合う図書祭りを開催した。この日に向けて、各学年ともに国語科学習に並行読書を取り入れてきた。ブックトークやおすすめカード、お話ボックス、図鑑等、紹介するために実態に応じた言語活動を取り入れて学習を積み重ねた。

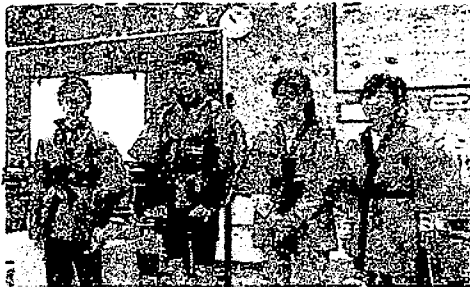
下記のプログラムで、図書祭りを開催

図書祭り開催のお知らせ

図書祭り開催！	
1 はじめの言葉	10:40~10:42
2 学年ごとの学習したことの発表(本紹介)	
①5年生 椋鳩十作品の魅力伝えよう	10:42~10:52
②3年生 おすすめ物語を紹介しよう	10:52~10:57
③4年生 戦争作品を読み、心に刻んだ場面を伝えよう	10:57~11:07
④2年生 お話ボックスで絵本を紹介しよう	11:07~11:12
⑤1年生 じどう車の「すごい」を伝えよう	11:12~11:20
⑥2年生 ルルとララシリーズのおもしろさを伝えよう	11:20~11:25
⑦6年生 安田茜子のファンタジー作品の魅力にみれ、広めよう	11:25~11:35
⑧紹介された本を絵巻新聞	11:35~11:50
3 放送図書委員会の読み聞かせ	11:50~12:00
4 表彰	12:00~12:05
5 校長先生の話	12:05~12:10
6 終わりの言葉	12:10~12:12



放送図書委員会児童の進行



はっぴを身に付けて登場した放送図書委員会の児童。会場の雰囲気が一気に盛り上がった。

また、ハロウィンの近いので、会場にはハロウィンの装飾をしたり、担当者が魔女の変装をしたりして、雰囲気作りをした。



学年ごとの本の紹介 5年 椋鳩十作品紹介



6名が二グループに分かれ、下学年・上学年それぞれに向けて、椋鳩十作品で魅力的な登場人物として、同じテーマに関係付けられる話をブックトークで紹介した。

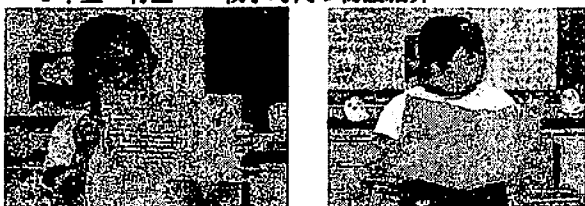
3年 斉藤隆介作品紹介



一人でも山に登り、土を掘り続けた一平はすごい人だと思いました。

並行読書で取り入れた本の中から、一人でもみんなのために行動する『半日村』の主人公を紹介した。

4年生・育空 戦争時代の物語紹介



『ちいちゃんのかげおくり』『真っ黒なおべんとう』『うしろの正面だあれ』など、戦争をテーマに、その悲惨さや犠牲になった人の悲しみなどが描かれた場面を紹介した。

1年 はたらく自動車のすごい!を紹介



「スケールバンカー」「こうざんようショベルカー」といった、それぞれに自分が調べた思い入れのある自動車の紹介をした。

育空 ルルとララのシリーズ紹介 6年 安房直子作品紹介



普段からよく手にしているあんびるやすこのルルララシリーズ。その中でも最近のお気に入りを紹介した。



安房直子作品を多読し、一番気に入った構成の作品を紹介した。

委員会児童の紙芝居 (しかけがある紙芝居)



「読み聞かせ=本を使って」ということが多かったので、紙芝居による読み聞かせが新鮮だった。また、しかけがあるものであったので、さらに楽しみながら聞くことができた。

先生方による紹介した本の読み聞かせを、好きな場所に行って聞く



展示コーナーや感想ボックスを用意すると、読んだ本の感想を次々に入れる児童の姿が見られた。紹介しただけで終わらせないための手立てとして有効であった。

紹介した本の展示コーナー



<成果>

- 全校児童が学習してきたことを発表するということで、目的意識をもって本を読むことができた。
- 同じ空間で一斉に読み聞かせをしていただけ、本の世界に引き込まれる温かな空間になった。
- 紹介した本の展示コーナーを設けたので、図書祭り後には、ほとんどの児童が自分の気になった本を借りに来て朝読書の時間に読む姿が見られた。

<課題>

- 伝えようという意識が弱く、原稿を書くと、原稿にとらわれすぎてしまう。紹介し合う学習活動を繰り返す、その都度よかったところを称賛し、自信をもたせていくことが大事である。
- 図書祭り中に読み聞かせだけでなく、実際に読む時間を確保できるよう計画できるとよい。

第3単元 「いのちってなんだろう -みんなでかんがえよう つたえよういのち-」

単元目標

- 低学年 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、いのちについての自分の思いや感想をもつことができる。【思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)オ】
- 中学年 文章を読んで理解したことに基づいて、いのちとはどんなものなのか、自分の考えや感想をもつことができる。【思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)オ】
- 高学年 文章を読んで理解したことに基づいて、いのちについて考え、どういのちを使っていくのか、自分の考えをまとめることができる。【思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)オ】

単元計画(17時間扱い国語科6総合的な学習の時間9道徳2 \*1年生は国語15道徳2) 11~12月

学習過程	ねらい	学習活動	学習材
事前学習 朝学習	○縦割りグループごとに、ウェビング・マップを作成することで、いのちという言葉から発想を広げることができる。	・6年生を中心にグループごとに、ウェビング・マップを作成する。 ・マップを見合い、いのちについてイメージを広げる。	ワークシート
第一次 (2) 総合 全校学習	○校長先生の話の聞いたり、読み聞かせを聞いたりし、いのちについて考えていく学習に対する意欲をもつことができる。 ○読み聞かせから生まれてきた奇跡や生命の神秘性を感じ取ることができる。 ○初めのブックトークを聞いてどんな小テーマがあるのかを知り、その中から、自分が興味をもったテーマを選び、詳しい情報を聞くことができる。(屋台形式) ○児童文学作家の今西乃子さんについて知り、著書を読もうという意欲をもつ。	・校長先生から、全校でいのちについて考えていくこととその意義について話を聞く。 ・『いのちのつながり』『いのちがうまれる』『人体の神秘』を取り上げ、いのちはつながっていることを確認する。また、生命として母親の胎内で育つ様子を写真をもとして知る。 ・『いのち』について考えるための小テーマにどんなものがあるのかを知る。 ・興味関心に応じて場所を移動して、詳しい説明を聞きに行く。 ・縦割り班ごとに6年生の読み聞かせを聞く。	学校図書館の本 読書ノート 小テーマがわかる 掲示物
第二次 (8) 国語1 総合5 道徳2 全校学習	○各自決めたテーマの本を読んだり、調べる学習をしたりし、いのちについての思いや考えを深めることができる。  ○今西乃子さんの「命の授業」から犬にも同じ命があり、共生していく大切さについて考えることができる。	・教師見本を見て、これからどんなことをメモしながら読めばいいか、見通しをもつ。 ・どの小テーマで取り組むのかを決めて、その理由を書く。 ・付箋やワークシートにメモを書きながら本を読む。 ・外部講師の話の聞き、殺処分される犬や猫のことを知るとともに、未来ちゃんに触れ、動物にも同じ命があることを再確認する。	教師見本 自分が選んだテーマの本 ワークシート 付箋紙 読書ノート
第三次 (5) 国語 各学年	○これまで学習してきたことをもとに、「いのち」について深まった思いや考えを、レポートにまとめることができる。	・教師見本をもとに、今まで読んだり、調べたことや深まった思いをレポートにまとめる。 ・メモをもとにどの情報をもとに書くのか、全体の構成を考えてまとめる。	教師見本 テーマの本 ワークシート 読書ノート
第四次 (2) 総合 全校学習	○「いのち」についての思いや考えを伝え合うことができる。 ○全員のレポートを合わせ一冊にし、各自自分だけの一冊になるよう体裁を整えることができる。	・各自深まった思いや考えを伝え合う。 ・表紙や奥付を書く。 ・今西さんに一冊送る。	まとめた冊子 読書ノート

## <授業と連動した学校図書館の整備・効果的な活用>

### (1) 授業と連動させるための学校図書館の整備の実際

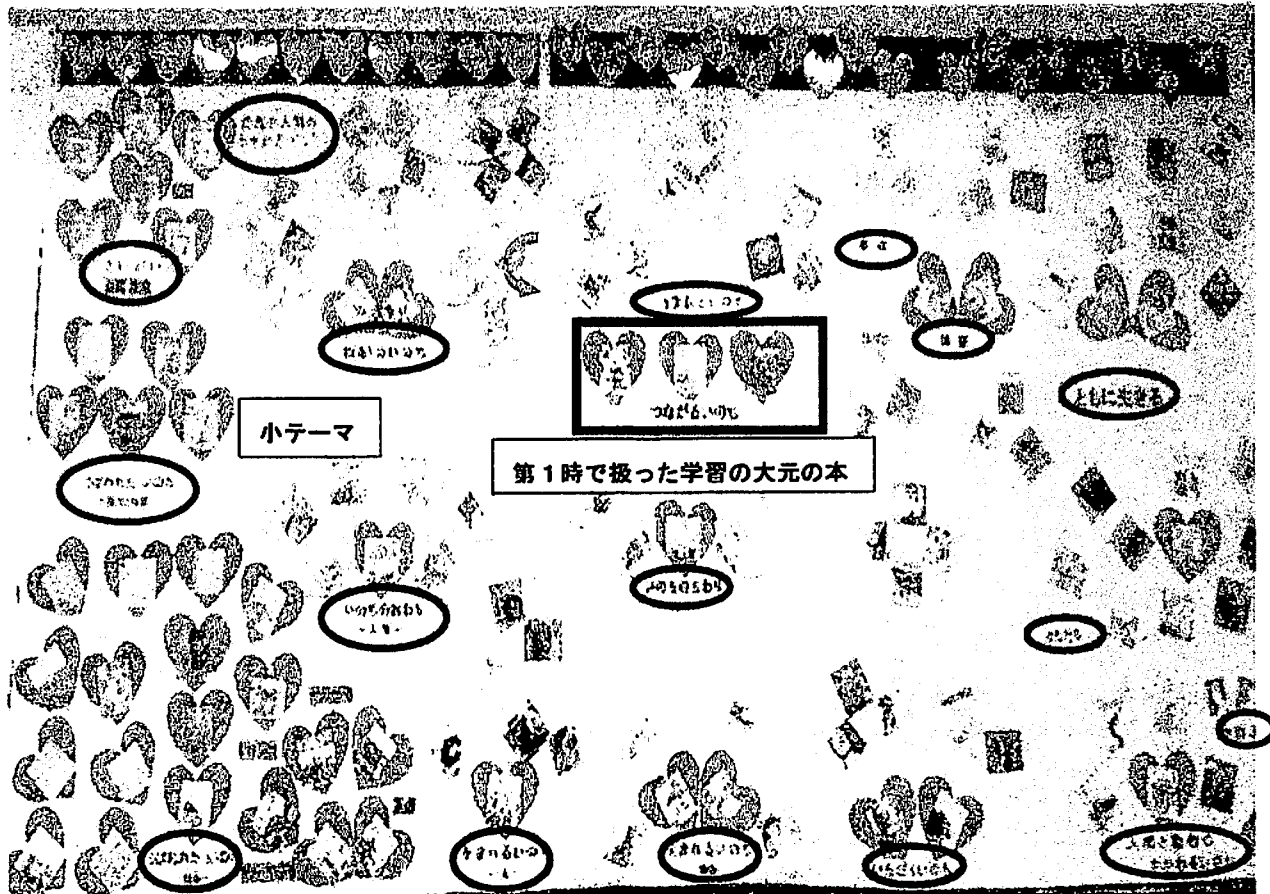
まずは、授業を構想する。全校学習の学習形態をとったので、発達段階に応じてどの児童も学びが充実するよう、教科横断的な学習「いのちについてかんがえよう」をテーマとして設定した。そして、単元計画とねらいを決定した。

次に、複数のテキストを読み、「いのち」について自分の考えを形成することをねらいとしたので、読むことに比重がかかりすぎないように、扱う複数のテキストは絵本や写真が使われているものを中心に、物語やノンフィクション、科学的な読み物等、学校司書と相談しながら選んだ。

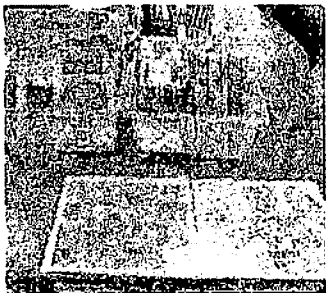
テキストが決定したら、それらをリスト化した。(リストについては資料編参照) リストのまま児童に提示しても味気なく、読もうという意欲も喚起しにくいと考え、小テーマごとに色を替えたハート形の台紙に本の表紙の写真を貼り、壁面に掲示した。リストでは、複数のテキストにどんなものがあるのか、一目ではわからず、また、そのどれを誰が読んでいるのか把握しにくいいため、下記の大きな壁面掲示物を作成した。これにより視覚化が図られ、教員だけではなく児童にも有効であった。

選んだテキストの大体を読み、児童がまとめるレポートの作文例を、学年に応じて四種類作成した。また、課題をもつ段階のワークシート、読む段階のメモをするワークシート、考えをまとめて書く原稿用紙等の準備をし、担任が負担感なく学習に臨めるようにした。

「いのち」の学習で扱うテキストをわかりやすく、視覚化を図った壁面掲示

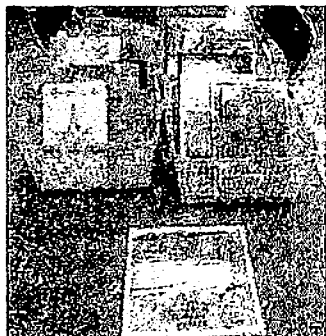


本は小テーマを更に細分化してかごに入れて整理し、机に表示札を付けてわかりやすくした。



いのちのおわり  
-人間-と-動物-

人間の「いのちのおわり」に関する本は、絵本が多く、重ね読みしやすい。死を迎えるまでの人との関わり方を考えさせられる。動物の方は、ノンフィクションもあり、読み応えがある。時間の制約があるので、ざっと目を通したり、目次から自分の考えに役立つような部分を読んだりする読み方もあることを伝え、読み方を意識させた。



自然と人間のかかわるいのち

絵本だけではなく、自然環境と人間生活の関わりを調べることができるものも用意した。

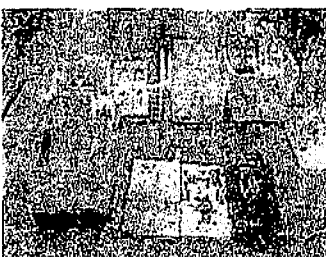
人間と動物のかかわるいのち

今西乃子さんの著書のうち、絵や写真が多いものを主に取り入れた。



ともに生きる-障害-

絵本を中心に揃えたが、絵本の中にもノンフィクションがあったので取り入れた。また外国のものや自伝も含めた。詩画集も紹介し、様々な境遇で生きる人々がいることを知ってほしいと願い揃えた。



うまれるいのち

今回の学習の大元となる三冊の本を含め、生命の神秘やいのちの誕生を喜ぶ周囲の人々の様子を知り、自分のいのちについて振り返り、両親への思いを深めてほしいと願い揃えた小テーマ。

また、レポートの作文例やワークシートを提示して、学ぶ手順等がわかるようにした。(資料編参照)

<成果>

校内研修においてこれらを提示し、単元構想についての共通理解を図り、授業に取り組んだ。

単元計画の他、壁面掲示、テーマごとの本の整備、ワークシート、まとめのレポートの作文例といった授業を行うための準備を整えたことで、学校図書館を活用した授業とは、どのようにするのが見通すことができ、先生方の理解と協力を得ることができた。

<課題>

小テーマごとの選書が適切であったか。担任も交えて選書するのもよかったのではないかと、

(2) 学校図書館を活用した授業の実際

第一次 第2時 11月9日(金) 学習見通し

目標・ブックトークを聞くことを通して、「いのち」について多面的に捉え、これからどんなテーマで本を読んでいくのかを見通しをもつことができる。

展開

時配	主な学習活動	指導上の留意点 (○) 評価 (◎)	学習材等
3	1 単元の目的や単元計画を確認する。 ○全校で「いのち」について考える。 ○12/4に今西さんをお迎えして「いのちの授業」を受ける。	○目的意識を明確にすることで、何のためにどんな学習をしていくのかを理解できるようにする。 ○学習の流れを再確認し、見通しをもち、主体的な学びになるようにする。	読書ノートに貼ったプリント
18	2 小テーマに沿って、本のブックトークを聞く。 ①生まれるいのち 人間・虫・動物 ②いただくいのち ③ともに生きる ・今西さんの本 ・ともだち ・かかわるいのち ・障害 いじめ 事故 ④いのちのおわり 人間・動物 ⑤うばわれたいのち ・戦争 難民と地雷 ・災害 ⑥自然と人間	○小テーマの中心となる本(掲示物の赤のハート)の大まかな内容について挿絵を使って伝え、どんなことがわかるのか理解できるようにする。 ○いのちについて、何をテーマにし、どんな本を読んでいけばよいか、見通しがもてるよう、掲示物を使って話をする。 ○本紹介が単調にならないよう、先生方に輪番で話をしていただき、変化をもたせる。	本の掲示
18	3 小テーマごとの本を実際に手にし、これからの学習のテーマをどうするかを考える。	○「いのちってなんだろう」という問いをもとに、どんなテーマで本を読んでいくのか、一人一人が見通しをもてるよう声をかける。 ○2の活動でその小テーマの紹介をした教員がつき、支援する。 ○縦割り班活動で上学年児童は下学年児童と一緒に読むよう声をかける。 ○学年に応じてわかったことや考えたことを書くことができるよう、担任とともに机間指導をする。	
5	4 本時で考えたことや感想をもとに、今のところどの小テーマで、いのちについての学習を進めたいのかを書く。	◎いのちをより多面的に捉え、これからの学習に向けて見通しをもつことができたか。	
1	6 次時の学習の見通しをもつ。	○「いのちの授業」用の掲示物を提示し、次時にいのちについて、どんなことをくわしく知りたいのかを決めることを知らせ、次時への意欲をもたせる。	

授業記録

○全校学習の2時間目の授業。本時は、前時の「いのちのつながり」を受けて、「いのち」について、どんなテーマで本を読み、考えていくのかを決められるようブックトークやテーマごとの説明を聞く時間である。まず、前時の振り返りをし、小テーマごとがつながるようにブックトークを行った。

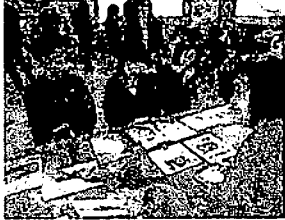
○全校児童が対象なので、下学年児童がわかりにくい言葉をあまり使わないように気をつけた。また、多くの本を紹介することになるので、読み聞かせや問いかけをしたり、経験談を聞いたりしながら、ブックトークをしていった。いじめに関する本の紹介では、目をこする児童も見られ、本の紹介に気持ちが乗っていた様子を感じられた。



初めの全体のブックトーク

○ブックトークにより、小テーマを大まかに捉えた後、各自3つ希望のテーマを決めた。そして、それぞれの小テーマのブースへ移動して、各担当の先生の説明や読み聞かせを聞く時間を設定した。

<生まれるいのち>



いのちの誕生を待ちわびる周囲の人のことがわかる本から、自分も生まれて生まれてきたこと。人間同様、動物にも親子愛があることを知ってほしいと願い揃えたリスト。

<うばわれるいのち>



戦争や紛争による難民、災害等でいのちをうばわれてしまうこともあることを知ってほしいと願い揃えたリスト。原爆の恐ろしさが伝わるよう、大きな写真資料を提示した。

<おわるいのち>



生まれてきたからにはいつかは迎える死。死までにどのようなかわりをもつかによって、後に残された人の思いも変わってくることから、自分の生き方を考えてほしいと願い揃えたリスト。

<木(森)のいのち>



自然を壊し、便利な生活を続けることが実は自分たちの生活も苦しめることにつながることを知り、これから、自然や動物とどう共生していくべきなのかを考えてほしいと願い揃えたリスト。

<障害・いじめ>



障害について知り、世の中には様々な困難に立ち向かいながら生きている方もいることから、自分自身を願ってほしいと願い揃えたリスト。このリストの中には、厚めの本であるが、じっくりと読んでほしいものが多い。

<いただくいのち>



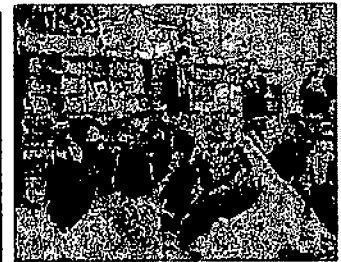
日常生活の中に根付いている「いただきます」という言葉。しかし、本当に「いのちをいただく」という意味合いを感じているのかを改めて考えてほしいと願い揃えたリスト。ノンフィクションの本もあり、じっくり読んで考えてほしい。

<人間と動物のかかわるいのち>



本校に来校される児童文学作家今西乃子さんの本や人間と動物のかかわりが描かれている本を揃えた。かかわり方は、いい場合もあるし、よくない場合もある。どう接していくことがお互いにいいことなのかを考えてほしい。

6分間ずつ、3回場所を替えて話を聞いた。それぞれ熱心に話を聞く様子が見られた。



テーマ候補が決まった児童は挙手

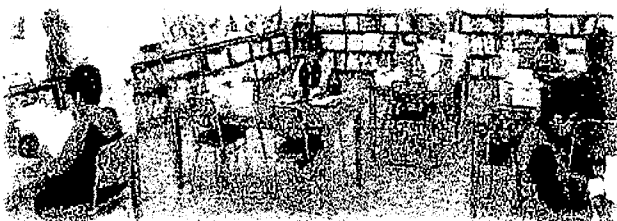
### <成果>

- 全職員が関わり、自分の担当を受け持って本の紹介を行ったことにより、児童個々の願いに沿うことができ、小テーマに対する理解を深めることができた。
- 教員自身も、役割が明確にあることで受け身ではなく、「自分の担当のテーマにはどんな本があるのか」「どのように紹介しようか」などと、主体的に授業や本にかかわることができた。

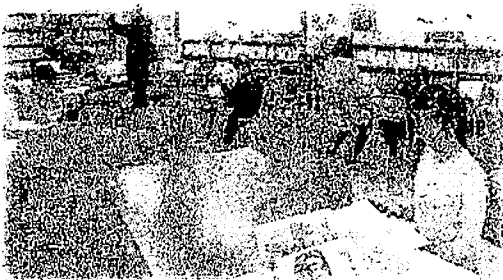
### <課題>

- 時間配分を綿密に考えておくべきであった。初めのブックトークが伸びた分、小テーマごとの紹介時間が短くなってしまった。児童からは「もう終わっちゃった」という声が聞かれ、十分に浸れなかったのかもしれない。また、事後の教員アンケートには「時間が短くなり、物足りなかった」という意見もあった。(それだけテーマに対する思い入れがあったということで、喜ばしいことである。)

第二次では、学校図書館において自分が選んだ小テーマの本を読み、付箋や読書ノートにメモをしていった。



6年生は絵本のみではなく、読み応えのある伝記やノンフィクションを児童が3名。選んだ小テーマに絵本が多い児童は、繰り返し読んだり、複数冊読んだりしていた。読書時間中は、とても集中して読んでいた。



「うわあ、いじめってひどいな。どうしてこんなことができるのだろう。」  
『わたしのいもうと』を読み、いじめた側の気持ちに寄り添うことができないと訴える児童。その後、他にはどんないじめの話があるのか、読み進めた。授業後には、「この本の女の子が・・・」と、友達に内容を伝える姿が見られた。

第三次では、メモをもとに、自分が「いのち」について考えたことをレポートにまとめた。



付箋を貼ったところを読み返したり、書きためたメモから引用するところを選んだりしてレポートを書いた。

また、道徳特別授業として、児童文学作家の今西乃子さんの「いのちの授業」も行われた。事前に著書を6年生が読み聞かせをしてくれたため、今西さんに対する思いを事前に耕すことができた。

5年女子 小テーマ「人間と動物のかかわるいのち」

今西さんの講演の話に続き、自分が読んだテキストの内容に移行する部分。

未来ちゃんは、麻里子さんや今西さんと出会ったことで、いのちをかがやかせることができました。次の二冊でも、人間と動物のよいかかわりが見られます。『ねだんをつかないいのち』と、『クジラのハンフリー』では、一生けん命な人間や人間味のある行動によって、動物が助かることがえがかれています。

同類のよい事例として、次からの段落を予告するつなぎ

この事例のように、読んだ本の内容と今西さんの話を関係付けてまとめることができた。



第四次では、小テーマごとに分かれて、書き上げたレポートをもとに、それぞれが「いのち」についてどんなことを考えたのかを伝え合う時間をもった。



それぞれが書いたレポートをまとめて一冊の冊子にした。冊子の最後には、この単元で取り上げた本のリストを付けた。今回読んだ本を改めて読んだり、今回読まなかった本もいつか読んで考える機会を持ったりしてほしいと考えた。(リストについては資料編参照)



#### **単元全体を通した成果と課題**

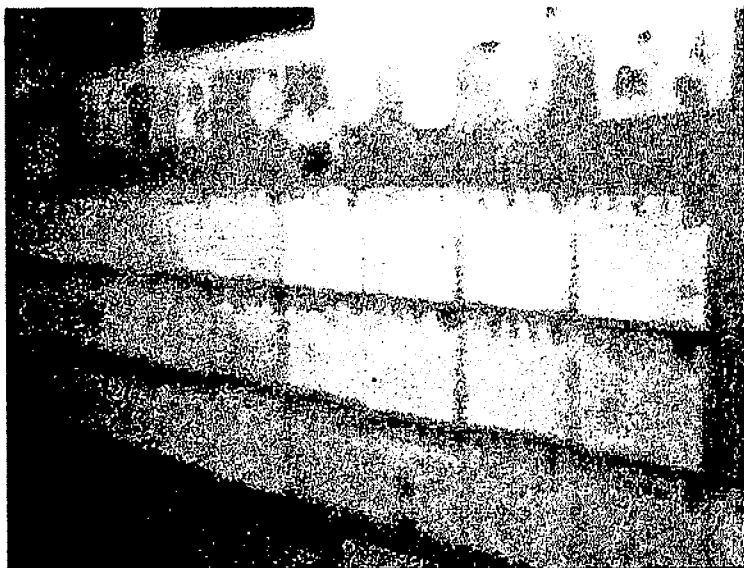
全校での同一テーマによるテーマ読書は、学校図書館を中核にして「いのち」に関連した本を読み浸る時間となった。テーマを設けることで、何となく読むのではなく、「いのち」について考えながら立ち止まりながら読む姿勢につながった。また、小テーマに分けたので、「一冊読んだら次はこの本にしよう。」という見通しをもって読書を進めていくことができた。また、壁面掲示に誰がどのテーマで読んでいるのかをわかるようにしたことから、「〇〇さんが読んでいる本をぼくも読もう。」といった声も聞かれた。テーマを設けて読書を取り入れた授業を行うことは、一冊の本が次の本をつないでいくので、学校図書館の活用を促すためには、有効であった。

学校図書館だけではなく、公共の図書館にも目が向くよう、全校で地区の公共図書館である印旛図書館に行った。そこでは、学校にはない自分の小テーマに関連する本を探し、借りる活動ができたことも読書生活を広げる上でよい経験となった。

課題としては、授業を行うための準備をいつどのように行っていくかである。読書を取り入れた授業の有効性を感じても準備に手間がかかるので、司書教諭や学校司書を中心とし、見通しをもち、計画を立てることが重要である。

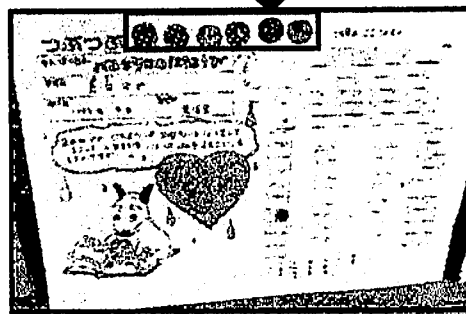


○感想交流の掲示板「つぶつぶコーナー」

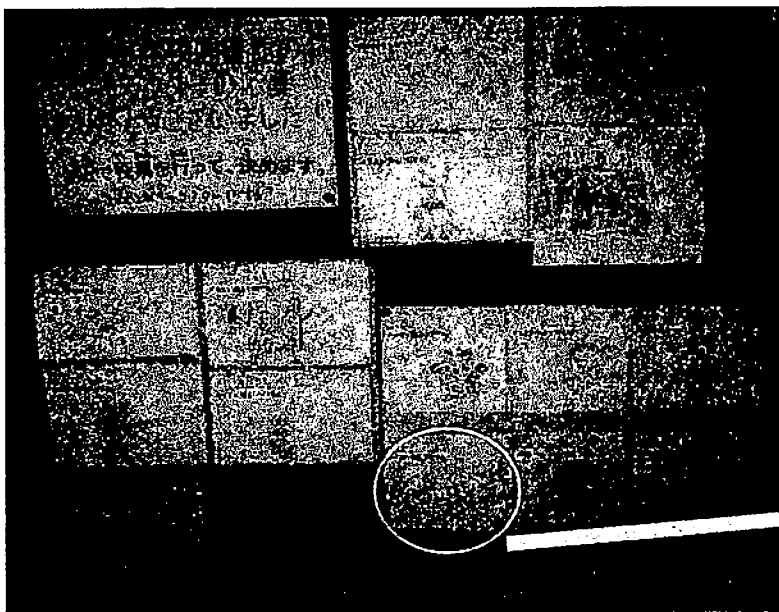


教員も含め、全員の感想を掲載する場「つぶつぶコーナー」

「読んだよシール」を貼ることで、読書意欲を喚起することをねらいとした。「読んだよシール」



○宗像小学校図書館のキャラクター募集



図書館キャラクターを募集したところ、15名の応募があった。それぞれにキャラクター名やその由来などを考えてくれた。楽しい活動であった。

全校児童と全職員投票の結果、「ほんだくん」に決定したので、原案を基に製作し、図書館にていつもお出迎え。



これらの様々な読書活動を通して、読書に対する関心が高くなった。貸出冊数も昨年度よりも増えた。特に6年生は、5年生の時に年間貸出数が平均15冊程度であったが、30年度は平均30冊となった。単純に貸出数の増加だけではなく、朝読書に読んでいる本のジャンルや内容に違いが見られるようになった。

また、6月にアンケートで「好きな作家はいますか」の問いに、「いる」としたのは9名であったが、16名に増えた。しかも、一人の作家名を挙げるのではなく、複数名挙げている児童がほとんどであった。読書ノートに記録したり、図書祭りにおいて同一作家の複数作品を読んだりした効果ではないだろうか。また、今西乃子さんの名前を挙げる児童が数名おり、著書を読むだけではなく、実際に会うことの効果は大きいと感じた。好きな作家がいることで、シリーズものを次々と読む児童が多く見られるようになった。さらに「友達が読んでいるので自分も読もう」という児童が増えた。

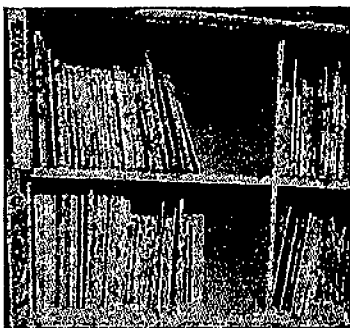
(2) 教員の読書に対する関心を高める読書活動

○校内研修の実施

授業と連動して学校図書館を整備・活用することの意義について共通理解を図るために校内研修を必要に応じて実施した。授業と連動した学校図書館の整備・活用について新学習指導要領の読み合わせをして、共通理解を図る。また、図書の貸出履歴や日常の児童の様子から、KJ法を用いて本校の課題を明らかにした。

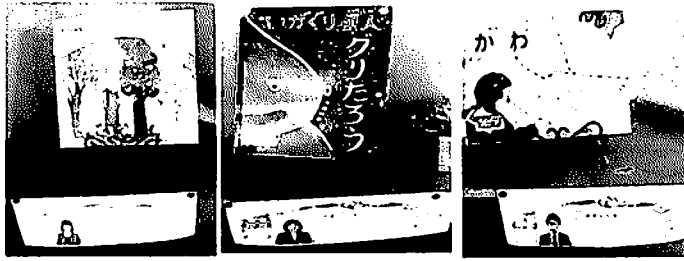
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・選書の課題</li> <li>・本の読み方に課題</li> <li>・日常に読書が根付いていない。</li> <li>・公共図書館の利用</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にいつでも読めるように本を置く。</li> <li>・休み時間の図書室利用が少ない。</li> <li>・全員が読み聞かせをする機会をもつ。</li> <li>・調べる学習では、すぐにパソコンではなく、まずは図書室での資料探しを行うようにする。</li> </ul>
<p>選書：第1単元の学びを生かし選書の幅が広がるよう、声かけをしたり本の紹介をしたりする。</p> <p>本の読み方：国語科の学習で読み方を意識させる。朝読書への支援。</p> <p>公共図書館の利用：全校での公共図書館見学の実施。保護者へのカード作成の依頼。</p> <p>本を身近に置く：マイブックスタンドの利用。</p> <p>学校図書館の利用：業間や昼休みに利用を呼びかける。</p>			

○学級文庫の改造



授業と連動させて毎月テーマを決め、学級文庫の選書をする。これにより教員が学校図書館に足を運ぶ機会を設けることができた。月を追うごとに、「今月はどんなテーマにするの?」「こんなのはどう?」といった話をする姿が見られるようになった。

○先生方の推薦書コーナー



階段の踊り場に各先生方の推薦書コーナーを設けた。こちらも学級文庫同様月一回交換する仕組みにすることにより、学校図書館に足を運ぶ機会となるようにした。



毎月先生方お一人お一人と話をし、選書意図を聞き、まとめたもの。話をすることで、先生方の選書意欲を喚起することができた。また、私自身も自分の知らない本を毎月知ることができ、選書の幅を広げることができた。  
今後選書する際に役立ててもらおうと考え、このまとめたものは各先生方に配付した。

○輪番で行う読み聞かせ



先生方が紹介すると、その後実際に自分で読もうとする児童が多く見られるようになった。

(3) 学校司書との連携

○学校図書館の入り口のおすすめの本コーナーの設置



「季節感のある選書」または、「授業と連動した選書」

○授業で使う本の選書のアドバイス

○授業や休み時間等での読み聞かせ

## 7 成果と課題

授業や読書活動の成果と課題についてはその都度振り返ってきたが、本研究を通して児童と教員の読書に対する関心がどのように変わったのかについて、年度末に行ったアンケートを基に考察する。

### 児童の読書に対する関心等について

#### <成果>

##### ○好きな作家

今まで作家を気にして読書をする児童があまりいなかったが、読書ノートや感想掲示板の感想シートに作家名や分類番号を書くことにしたため、自分の好きな作家やジャンルを意識するようになった。

##### ○朝読書についての気持ちの変化

###### 選書に関する記述

- ・分厚い本も読めるようになった。
- ・はじめと設定を読んで、おもしろそうだなと思ったら借りるようになった。
- ・今まで好きな物語だけを読んでいただけで、「障害」について勉強してから、それについての本を読むように意識している。
- ・前は図書室で本を借りずに、学級文庫の本を適当に選んでいたけれど、今年は図書室で気に入った本を選んで、たくさん読めた。

###### 読書生活に関する記述

- ・もっと読みたいと思った。                      ・たくさん読めるようになった。
- ・集中して読めるようになった。                  ・しっかり読もうという気持ちになった。
- ・本を読むようになった。朝読書が習慣化した。
- ・去年の朝読では、ポーッと読んでいただけで、今年は登場人物の気持ちを考えながら読めた。
- ・学校での朝読書の習慣から、休日の朝も本を読むようになり、もっと本が好きになった。
- ・他の人が読んでいる本が気になり、借りてみようと思った。

朝読書を学校図書館で全校児童が集い、行ったことにより、本人達が自覚するように読むことに対する意識が高まってきたことが感じられる。

##### ○学習センター・読書センターとしての学校図書館

- |                  |    |   |   |
|------------------|----|---|---|
| ・本を借りる場所         | 1名 | } | 本がある場所という物理的な捉え方の児童は、少ない。               |
| ・本がたくさんある場所      | 2名 |   |   |
| ・たくさんの世界がある場所    | 1名 | } | 今年度学校図書館を活用した授業を行ったことによる捉え方をした児童が約三分の一。 |
| ・楽しく学べるところ       | 6名 |   |   |
| ・集中できる場所         | 3名 | } | 朝読書の効果か、読書を楽しむ姿が感じられる児童が約半数。            |
| ・落ち着いてゆっくり読めるところ | 7名 |   |   |

#### <課題>

読書に対する関心の高まりは感じられるが、時間を見つけて読書をするといった読書習慣を形成するまでには至っていない。今後も継続して読書活動に取り組み、読書通信等で家庭の啓発を続けていく必要がある。また、読解力があると評価できる児童は、読書習慣も身に付いている傾向が見られる。読書生活を耕すことで学力が向上することを教員が意識して児童の指導に当たることが大事である。

### 教員の読書に対する関心等について

教員アンケートの「研修を通して学校図書館や読書に対する見方は変わったか」という項目に対する回答から考察する。

#### <成果>

学校図書館を毎月、常に取り扱ってきた。自分もどの本がよいかを判断することができた。図書室によく行くようになった。  
ご自身の読書生活の変化を感じている。

教科書以外の理科や社会科の調べ学習でも資料として学校図書館にある書籍を活用するようになった。  
子どもの読書に関心を持ち、児童の読書に働きかけ、その本を薦めたり、読書祭を開いたりした。エピソード  
学校図書館を活用したり、児童の読書指導を積極的に行おうとしたりする姿が見られた。

本を読む（子供にでもよく物事を考えることができる）という  
・大人になっても読書に親しむ基礎づくり  
・読む力、考える力、書く力の向上  
・工夫次第で、価値が大きく変わってくること。  
まずは学校図書館に集うことの大切さを学んだ。本に囲まれた中で読書をすることを継続して行うことは、児童の読書活動をより豊かなものにするとともに、学習に取り組む姿勢や学習内容の深まりにより影響を及ぼすものだと感じた。  
読書の楽しさ、書かぬは、読書が育んでいくものが大きい。  
本に関心を持ち、生涯読書としての視点も養われた。  
読書を取り入れた授業や学校図書館を実際に活用することで実感した効果について言及

読書を取り入れた授業や学校図書館を活用した読書活動を行うことの効果を実感している記述が多く見られる。やはり実際に学校図書館に足を運ぶ機会を意図的に設けたことと、授業や読書活動を通じた児童の姿の変容を目の当たりにしたことが要因として考えられる。教員の読書に対する姿勢が変われば、児童に対する指導の仕方も変わるので、全校を挙げての研修は学校図書館活用の活性化を図るためには有効であった。

#### <課題>

司書教諭を中心として、担任が学校司書や図書館担当と定期的に話をする場を設け、学校図書館を実際に活用する仕組みを構築することが重要である。



# 国語科を中核にした学校図書館活用の活性化

—テーマ読書や読書活動を通して—



資料編

「いのち」の本リスト



いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

つながるいのち 第一次で扱う本 11月8日・9日 全校学習

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
467ナ	いのちのつながり	中村運	福音館書店	遺伝子や地球に生命が誕生した時の話など、今にどのようなつながってきたのかがわかる。命のつながりの導入に使える。
491ジ	人体の神秘	竹内均	教育社	人間がどのように母親のおなかの中で育っていくのかが、写真により鮮明に伝わる。自分もそうだったのかと、容易にイメージできる本。
Eク	いのちのまつり ヌチヌグスージ	草場一寿	サンマーク出版	ご先祖をたどっていくと、遠なっていく無数のいのちが見える。そして、そのどれか一つが欠けても、存在しない自分。しかけにより、視覚的に捉えることができる本。

生命誕生の不思議さや神秘性を感じるとともに、命のつながりを目で捉え、理解して、命を大切にできる子になってほしいと願い描いた。

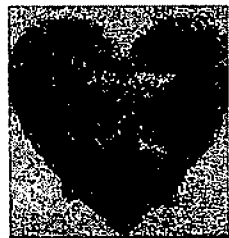
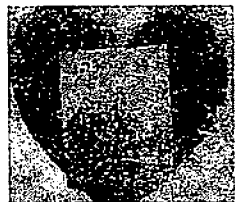
まず、『いのちのつながり』を読み聞かせ、地球上にいのちが誕生し、今まで様々な生き物が生まれ、すがたを満していったことを知る。この一冊からだけでも、命の誕生やつながりについて考えることができる。

次に、『いのちのまつり』を読み聞かせし、自分のご先祖様をたどっていくと、みんなつながっていくことを視覚的に捉える。誰か一人でも欠けてしまえば、今の自分は存在しないことを知る。だから、みんなそれぞれに、大切ないのちを受け継いでいることを理解することができるのではないかと考える。

最後に、リアルな写真を見ながら、生命誕生の神秘性に触れられたらいいなと思い、『人体の神秘』を用いる。その中のいくつかの写真を使い、おなかの中で育つ赤ちゃんの様子を捉えさせる。自分たちもこのようにおなかの中で育ち、この世に生まれてきたことを改めて考えさせる。

第一次1時間目でこの三冊を扱い、「いのち」について考えていく学習であることを、その学年なりに捉えさせる。

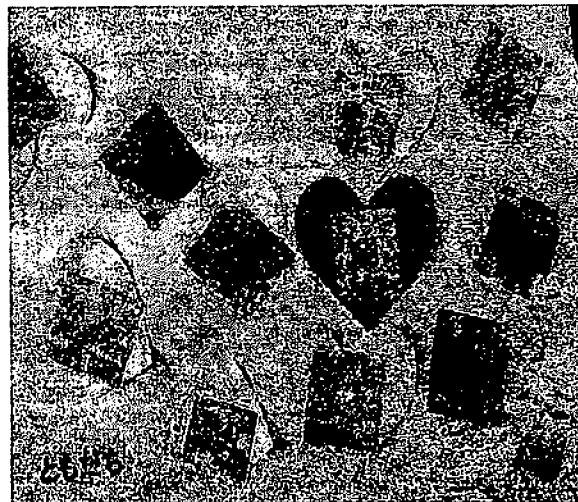
2時間目は、小テーマをブックトークで紹介し、児童に希望を3つ選んでもらう。そして、希望のところに移り、先生方の話を聞く。この授業を通して、「いのち」についての考えを深めさせたい。



いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

ともだち (動物)

請求番号	書名	著者名	出版社
Eフ	ともだちや	内田麟太郎	信成社
Eフ	ごめんねともだち	内田麟太郎	信成社
Eタ	さびしいは さびしくない	内田麟太郎	教育画劇
Eオ	かたあしだちょうのエルフ	おのきがく	ポプラ社
Eオ	みにくいあひるの子	ハンス・クリスチャン・アンデルセン きむらゆりこ	ほるぶ出版
Eム	カーくんとのなかまたち	吉沢誠	ワイズ・アウル
Eク	ひとりぼっちのアヒル	きむらゆういち	童心社
Eミ	であえてほんとうによかった	宮西達也	ポプラ社
Eミ	おれはティラノサウルスだ	宮西達也	ポプラ社
Eイ	よだかの星	伊勢英子	講談社



\*友達に関する本は、ここに挙げた他にも、たくさん本があると思うので、全部読んでしまったら、他のものも探して読んでかまいません。

友達や人とのかわり方を考えてほしいと願い描いたリスト。

まず、『ともだちや』を読み、友達はお金でつながるものではないことを改めて考える。

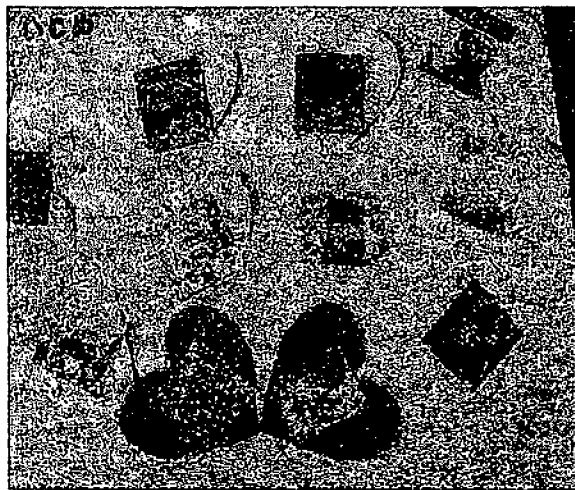
→11/8

江口さんの読み聞かせ  
その他の本は、読む順序性はない。友達や他の人の見方やかわり方について考えさせたい。人を一面的に見るのではなく、多面的に見ることの大切さを感じ取ってほしい。人と違うことで、いじめにあうこともあるが、遠くで当たり前であることやそれぞれのよさを感じて、支え合って生きていくことこそ大事であることを捉えさせたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

ともだち（人間）

請求番号	書名	著者名	出版社
Eム	みんなともだち	中川ひろたか	童心社
011カ1 2	金子みすゞ てのひら詩集	金子みすゞ	JULIA出版局
Eサ	さっちゃんのまほうのて	たばたせいいち	信成社
Eア	わたしのいもうと	松谷みよ子	信成社
Eイ	ひさの星	斉藤隆介	岩崎書店
Eヤ	からすたろう	やしまたろう	信成社
Eミ	ちきゅうはメリーゴーランド	まど・みちお	小峰書房
Eタ	となりのせきのますだくん	武田英穂	ポプラ社
371イ	ぼくらが作りたいじめの映画	今関信子	佼成出版社
0137	ハッピーバースデー	青木和雄 吉富多佳	金の星社



\*障害の分類に入れておいたが、『ぼくのお姉さん』は短編であり、ぜひ読ませ、考えさせたい。

金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」では、それぞれの個性を生かしていくことの大切さを捉えさせる。『みんなともだち』では、幼いころのつながりが大人になっても続くことを伝え、日々のかかわりを充実させることのよさを考えさせたい。

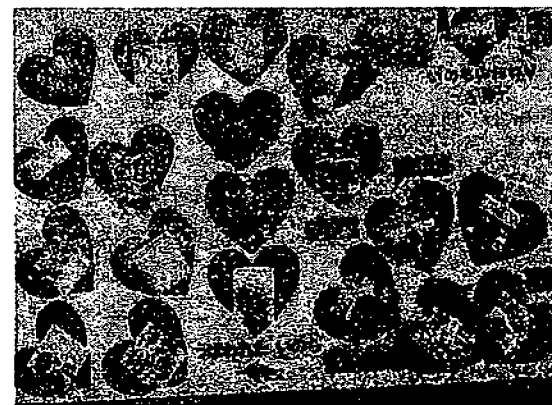
その上で、『さっちゃんのまほうのて』『わたしのいもうと』『ひさの星』『からすたろう』『となりのせきのますだくん』などをじっくりと読み、人とどうかかわって生きていくことがよいのかを考えていく。みんな同じいのちをもつものであることを、しっかりと認識させたい。

高学年児童であれば、『ぼくらが作りたいじめの映画』『ハッピーバースデー』といった本もじっくりと読ませたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

うばわれたいのち（戦争）

請求番号	書名	著者名	出版社
Eハ	えんぴつびな	長崎源之助	金の星社
Eマ	すみれ島	今西祐行	信成社
Eイ	戦火のなかの子どもたち	岩崎ちひろ	岩崎書店
Eウ	ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ	あかね書房
Eツ	まちんと	松谷みよ子	信成社
Eキ	よっちゃんのビー玉	児玉辰春	新日本出版社
Eエ	1945年3月9日あしたのやくそく	吉村勲二・吉村ミエ	新日本出版社
Eシ	おこりじぞう	山口勇子	金の星社
Eハ	夏のおわり	長谷川集平	理論社
Eヤ	おかあさんの紙びな	長崎源之助	岩崎書店
013ム	マヤの一生	椋鳩十	大日本図書
013タ	ガラスのうさぎ	高田敏子	金の星社
319カ1	あの日、家族が消えた！	安斎育郎	新日本出版社
319カ2	天主堂も友達も消えた！	安斎育郎	新日本出版社
319カ3	原爆はなぜおとされたのか？	安斎育郎	新日本出版社
319カ4	あの日をわすれない	安斎育郎	新日本出版社
319カ6	平和をひろげよう	安斎育郎	新日本出版社



\*戦争に関連する物語は、他にもある。必要に応じて探して読むといい。

日本が行った戦争について知ること、負を生む争いに対する認識をもち、考えを広げることが願い、揃えたリスト。社会科との関連を図るなら6年生向き。

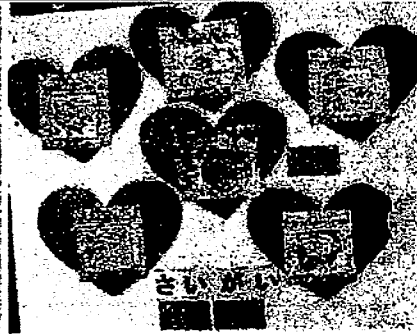
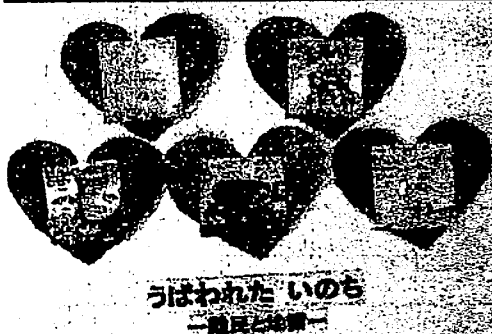
絵本は、学級の実態によって扱う本を決めたり、すべてを読んだりしてもよいと思う。イメージしにくい戦争当時のことを、物語の主人公に寄り添い、感じ取ってほしい。恐怖でしかないのだが、だからこそ、今を生きる自分たちはどう生きていくべきなのかを考えたい。絵本なら、3年生以上で扱うことが可能。

広島・長崎・沖縄で起きたことに目を向けられるようリストを用意した。社会科での太平洋戦争の学習と関連させ、調べる学習を入れる。事実をまとめ、そこからどんなことを考えたのかを書き、いのちのあり方について考えを深められればいいと思う。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

うばわれたいのち (難民と地雷 災害)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
Eハ	ぼくがラーメンたべると き	長谷川義史	教育図書	世界はつながっており、子供の安全が確保されていない国々があることを知る。
Eコ	せかいいちうつくしいぼくの村 ＊写真に入っていない。	小林 豊	ポプラ社	最後の一文を削除しないで読み聞かせ、その後どうなったかを予想させる。それから最後の一文を復元する。
36971	災害はやってくる	秋山滋	岩崎書店	自分の身を守る意識を高める。
36972	地震にそなえる	秋山滋	岩崎書店	自分の身を守る意識を高める。
36973	火災をふせぐ	秋山滋	岩崎書店	自分の身を守る意識を高める。
36974	災害からのサバイバル	秋山滋	岩崎書店	自分の身を守る意識を高める。
36975	役にたつ応急手当	秋山滋	岩崎書店	自分の身を守る意識を高める。
Eイ	ゆずちゃん	肥田美代子	ポプラ社	阪神・淡路大震災でなくなったゆずちゃんの話。自然災害について改めて考える。
Eヨ	地雷ではなく花をください	葉祥明 柳瀬房子	自由国民社	地雷の恐ろしさや残忍さについて考える。
369ナ1	難民が生まれるのはなぜ?	小林正典	草土文化	地雷の恐ろしさや残忍さについて考える。
369ナ2	地雷がうばうものはなに?	小林正典	草土文化	地雷の恐ろしさや残忍さについて考える。
369ナ3	できることから始めよう!	小林正典	草土文化	自分たちにはできることはないかを考える。



自然災害や地雷という人災により、命を奪われた人々のことを知り、自然災害から自分の身を守る手段を考えたり、世界に目を向けたりしてほしいと願い揃えたリスト。高学年向き。

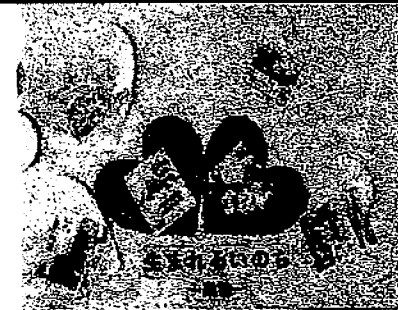
フィクションではあるが、『ぼくがラーメンたべるとき』『せかいいちうつくしいぼくの村』では、日本とは違う環境で生きる子供たちがいることを知ってほしい。地雷により命を奪われたり、命は助かって、手や足を失ったりした人々のことを知る。『できることから始めよう』を読み、自分たちにもできることがあるかを考える。

また、阪神・淡路大震災で亡くなった『ゆずちゃん』の読み聞かせから、突然命が奪われることについて考える。そして、災害から身を守る手段を『災害はやってくる』『地震にそなえる』等から知る。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

うまれるいのち (人間・動物・虫)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
645コ	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール つぼいいくみ	福音館書店	犬が誕生する様子が写真によりわかる。生命誕生の瞬間を捉えさせる。
481セ	たまごとひよこ	ミリセント・E・セルサム 松田道郎	福音館書店	生命誕生までについて絵をもとに捉える。
489ユ	タテゴトアザラシの おやこ	結城モイラ	ポプラ社	生まれて2週間で自立するアザラシ。
489マ	こおりのくにの シロクマおやこ	前川貴行	ポプラ社	お母さんと自立するまで旅をする。
489ハ	「ハナ」は日本一のお母さん	広島市安佐動物園	新日本出版社	サイの子育てについて知る。
481サ	鳥の親子	沢近十九一	国土社	鳥の子育てについて知る。
Eク	むしたちのうんどうかい	得田之久	童心社	むしたちが集まり、運動会を聞く。その中で虫たちの特徴がわかる。
485イ	ダンゴムシ	今森光彦	アリス館	誕生・生きていく知恵
485イ	テントウムシ	今森光彦	アリス館	誕生・生きていく知恵
485イ	クモ	今森光彦	アリス館	誕生・生きていく知恵
486シ	いのちのカプセル まゆ	新聞孝	ポプラ社	誕生・生きていく知恵
486マ	糸でいきる虫たち	松山四郎	大日本図書	誕生・生きていく知恵
486イ	いもむしのらんち	林長剛	アリス館	生きる上で必要なこと



生命誕生の不思議さや神秘性を感じるとともに、動物や虫にも、人間と同じ命があり、すべての命を大切にできる子になってほしいと願い揃えたリスト。

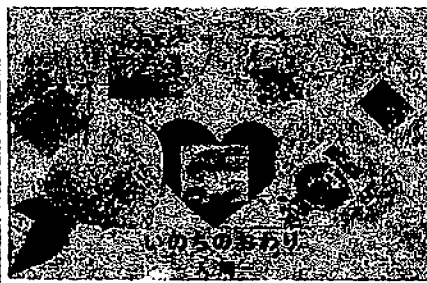
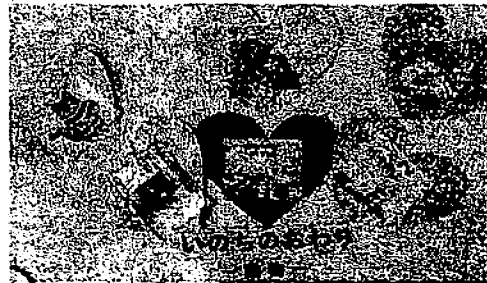
動物編では、『こいぬがうまれるよ』『たまごとひよこ』を導入で扱い、命の誕生の瞬間や生まれてくるまでの様子を捉える。そのあと、他の本を読み、それぞれ環境に合わせて生きる動物の生活を知る。

虫編では、『むしたちのうんどうかい』という絵本を同化して楽しく読むことで、それぞれの虫の特徴を知る。そのあと、科学的読み物を読むことで、ノンフィクションとして実際に虫にも命があり、それぞれ知恵を働かせて生きていることを知る。人間だけではなく、動物や虫も命あるものであるということを改めて捉えさせたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

いのちのおわり (動物) (人間)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
Eバ	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ 小川に夫	評論社	死んでも生きてきた時に残してきたものは後世に息づく。
Eピ	ずーっとずつとだいたすきだよ	ハンス・ウィルヘルム 久山太市	評論社	生きてきた時の心のつながりは残る。
Eサ	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	愛するものができること、死ぬ恐ろしさを 知ることになったねこの話。
Eカ	天国からやってきたねこ	川原まり子	岩崎書店	死んでしまった飼いねこと飼い主は 心でつながっている。
489タ	子ぎつねヘレンがのこしたのもの	竹田津実	備成社	保護されたキタキツネは、目が見えず 耳も聞こえないようであった。
911カ	金子みすゞ てのひら詩集	金子みすゞ	JULA出版局	大道・・・見方を変えると、死を悲しむ 側もあることに目を向ける。
Eウ	ラブ・ユー・フォーエバー	ロバート・マンチ 乃木りか	岩崎書店	親はいつまでも子供を心配するが、 年を取ると、役割が変わっていく。
Eハ	おじいちゃんのごらくごらく	西本鶏介	すずき出版	人間の死について考える。
Eバ	おじいちゃん	ジョン・バーニンガム たにかわしゅんたろう	ほるぶ出版	人間の死について考える。
Eイ	おばあちゃんがいるといいのにな	松田素子	ポプラ社	人間の死について考える。
Eマ	じいじのさくら山	松成真理子	白泉社	人間の死について考える。
Eエ	おじいちゃんがおばけになったわけ	キム・フォックス・オー カーソン 渡木晃子	あすなろ書房	人間の死について考える。 *写真に入っていない
911ク	てつがくのライオン	工藤直子	理論社	
911エ4	日本の詩 いのち	遠藤豊吉	小峰書店	



生まれてきたからには、やがて死を迎えるが、生き方やいのちのつながりについて考えてほしいと願い、揃えたリスト。低・中学年向き。

動物編は『わすれられないおくりもの』を中心として、生きている間の人とのかかわり方について考えることができる。

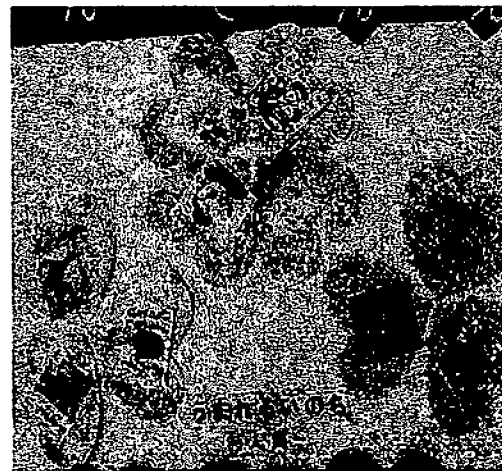
人間編は、死を迎えても心は残り、それは折に触れて思い出すことができることを捉える。

これらの本を通して、生と死、生き方についてその学年なりの考えをまとめる。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

うまれるいのち (人間)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
	赤ちゃんの誕生	ニコル・テイラー	あすなろ書房	写真をもとに、赤ちゃんの育つ様子を 知る。
Eカ	あなたのおへそ	かこさとし	童心社	お母さんとのつながりがおへそである ことを知る。
Eイ	おなかのなかにいたときはね	かしわざゆたか	集文社	赤ちゃんとして、おなかの中にいた時 のことを想像する。
Eム	おおきくなるっていうことは	中川ひろたか	童心社	身も心も大きくなっていくことについて 考える。
Eハ	ぼくがあかちゃんだったとき	浜田桂子	教育園劇	何もできなかった赤ちゃんのころから 成長していることを感じ取る。
Eグ	ああのころ、そしていま・・・	ホーカン・ヤエンソン 野木晃子	岩崎書店	幼い頃と今を比較し、成長してきたこと を感じる。
Eナ	おとうさんがおとうさんになった日	長野ヒデ子	童心社	生まれてきたときの周りの様子を知る。
Eビ	ちいさなあなたへ	アリスン・マギー なかがわもひろ	主婦の友社	生まれてきたときの周りの様子を知る。
Eハ	あやちゃんのうまれたひ	浜田桂子	福音館書店	生まれてきたときの周りの様子を知る。
Eク	うまれてきてくれてありがとう	にしもとよう	童心社	生まれてきたときの周りの様子を知る。
911ク	てつがくのライオン	工藤直子	理論社	
911エ4	日本の詩 いのち	遠藤豊吉	小峰書店	



みんな赤ちゃんとして生まれてくるが、その頃のことほとんど覚えていないだろう。だから、物語を読み、周りの人々が誕生を心待ちにしていたことや生まれてきてからもみんなに愛されてきたことを想像させたい。そして、それは、自分だけではなく、自分と同じように友達も育ててきたことに思い至らせたい。

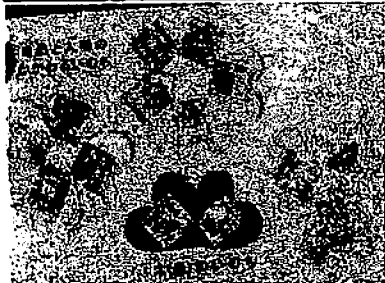
いのちを受け継ぎ生まれてきたことへの感謝の気持ちをもてるようにしたい。

物語自体は低学年でも読めるものであるが、低学年と限らずに、他の学年にも読ませたい小テーマ。ぱっと読める物ではあるが、そこから何を考えたのか、自分の生きてきた道を振り返り、いのちについて考えさせたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

自然と人間のかかわりのち

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
4897	ヒグマの原野	青井俊樹	フレーベル館	すみかやえさきょうばわれていくクマの現状を知る。
Eミ	ぼくはくまのままでいたかったのに・・・	イエルク・シュタイナー おおしまかおり	ほるぶ出版	人間生活のための開発と野生動物のかかわりを考える。
653モ	森のともだち	森川 靖	東京電力	自然の中で、それぞれが相互に関連し合って生きていることを知る。
Eラ	いっぼんの木	ウルコ・ラボンデル よこやまかづこ	ほるぶ出版	季節と動物たちの暮らしの変化を見る。
Eシ	きりかぶのあかちゃん	まど・みちお	国土社	生きるために木を切ってしまった動物と切り株の心の変化と交流を語る。
Eマ	木のうた	イエラ・マリ	ほるぶ出版	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
Eカ	ちきゅう	0・フライング・カラス E国太一	信成社	地球上のものは、みんなつながっていることを知る。
676タ	いっぼんの船場のむこうに	谷川俊太郎	福音館書店	船場の製作に様々な人がかかわっていることに気付く。
451キ	100年後の地球	木元敏子	エネルギー・フォーラム	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
650ト	森は生きている	富山和子	講談社	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
653ワ	木はなぜたいせつか	渡部長隆	岩崎書店	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
650ミ1	森が泣いている	宮脇 昭	ゆまに書房	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
650ミ2	森は生命の源	宮脇 昭	ゆまに書房	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
650ミ3	森の未来	宮脇 昭	ゆまに書房	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
619ワ2	砂漠化から地球を守る	Eマグリーンシュ	信成社	自然環境と人間生活のかかわりを変える。
6日8オ	ブナの森は鏡のダム	大田 昭	あかね書房	自然環境と人間生活のかかわりを変える。
4日2ヤ	砂や塵っぽく地球をきれえよう	山岡直人	フレーベル館	自然環境と人間生活のかかわりを変える。
6.1 母子	自然と生きるためにできること	渡辺隆一	ポプラ社	自然環境と人間生活のかかわりを変える。



\* 終わりの4冊は写真に入っていない。

自然環境のことを考えることは、めぐるめぐって人間に近づくことを知り、人間のことだけでなく、自然のつながりに目を向けたいと願い描かれたリスト。

4国語科・社会科・総合との関連4・5年生向き

森の動物と木々のかかわり、森林と人間のかかわり、そして、かかわり方によっては地球環境も変えてしまう気候現象を引き起こすことにつながる。ここに挙げた様々な本を読むことを通じて、環境問題について考える。

また、『ぼくはくまのままでいたかったのに・・・』『ヒグマの原野』では、町の開発のために自然が破壊され、生きる場を失ったクマの生きる様子を捉える。

そして、自分たちは、どう自然環境と共生していくかを考える。

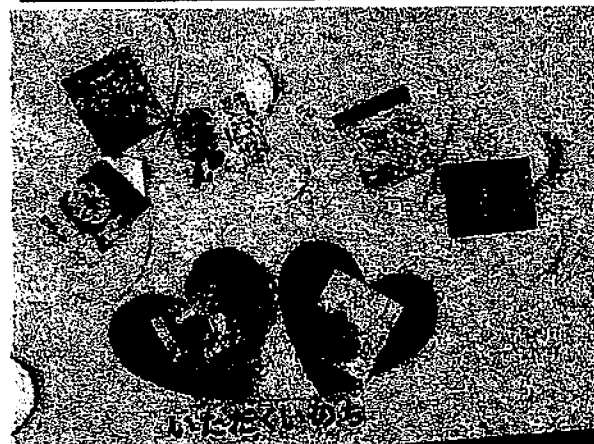
4年生であれば、総合での環境問題の調べ学習、5年生であれば4国語科の「白山山地」や「森林と健康」や総合のお米作りとの関連を図る。

読んで本を紹介しながら、自分たちができる環境改善に関する身近なことを考え、私たちのいのちのかかわりを考える機会としたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

いただくいのち

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
Eイ	山のいのち	立松和平	ポプラ社	いのちをいただくことで、いのちはつながっていくことを捉える。
Eツ	しんでくれた	谷川俊太郎	佼成出版社	生きることは他のいのちをいただいていることだと、改めて捉える。
383モ	食べているのは生きものだ	森枝卓士	福音館書店	みんな命をいただいて生きている。
648モ	いのちの食べかた	森達也	理論社	みんな命をいただいて生きている。
375ク	豚のPちゃん 32人の小学生	黒田善史	ミネルヴァ書房	豚を飼って、食肉センターに送る実話。
491ハ	人体を旅する	ニコラス・ハリス 奥沢 隆	理論社	しかげ絵本。体の中がわかる。
Eカ	たべものたび	かこさとし	童心社	体に入った食べ物がどうなるかわかる。



「いのちをいただく」というのは、残酷な面もあるが、そうしなければ生きていくことができない。だからこそ、自分のいのちのように、他者のいのちも大切にしていかなければならないことを、捉えさせたい。

『山のいのち』では、ひきこもりになってしまった静一が、祖父の家でのいのちのつながりを感じる物語である。『しんでくれた』は、衝撃的な題名のため、学校図書館にはないが取り上げる。牛・豚・鳥等、私たちのために「しんでくれ」、調理され、私たちの血肉になる。いのちをいただくことは、大切なことであり、いのちをつなぐことでもあることを捉えさせたい。

また、人体のしくみを知り、生きていくためにすばらしい体の仕組みがあることを捉える。

これらの本の他に、「食べることで成長」「いのちをいただき、いのちをつないでいること」を表しているものを探して読んでほしい。公共図書館に行ったときなど、学校図書館にはないものを借りられるようにしたい。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

ともに生きる (障害)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
Eサ	さっちゃんの家ほうのて	たばせいいち	信成社	フィクションの書籍ではあるが、障害が原因でいじめを受けてしまう。どうともに生きていくべきなのかを考える。
Eナ	いのちは見えるよ	長野ヒデ子	岩崎書店	視覚障害のある人が、ゆづりを見ることができた。いろいろな心算があるが、ゆづりの成長を眼で感じ、育てる姿を捉えさせたい。
493ベ	小児脳麻痺とたたかうジョニー	トーマス・ペリマン	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
493ベ	筋ジストロフィーとたたかうステファン	トーマス・ペリマン	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
369ブ	やあ、すてきなななまたち!	ブラウン	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
369イ1	障害と私たちの社会			障害とはどんなことをさすのか、障害のある方にとって不便なことはどんなことをさすといった事項を知る。
378ワ	わたしたちのトピアス	トピアスの兄姉 山内瑠子	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
378ワ	わたしたちのトピアス 大きくなる	トピアスの兄姉 山内瑠子	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
378ワ	わたしたちのトピアス 学校へいく	トピアスの兄姉 山内瑠子	信成社	障害のある方の生活の様子を知る。
280ガ	ヘレン・ケラー	加賀俊吉	集英社	三盲の中で言語を習得するヘレンの努力を知る。
289ツ	ピアノはともだち 盲童のピアニスト辻井伸行の秘密	こうやまのりお	講談社	天才ピアニストと言われる辻井さんだが、幼き日の困難の葛藤を知る。
289オ	五体不満足	乙武洋匡	講談社	手足がないけれども、明るく生きる乙武さんの姿を知る。
Eマ	こわいことなんかあらへん	福井遼剛	信成社	障害のある子供たちの目で描かれていることを捉えさせ、ともに生きるとはどういうことか考えさせる。
Eミ	みんなみんなぼくのともだち	福井遼人	信成社	障害のある子供たちの目で描かれていることを捉えさせ、ともに生きるとはどういうことか考えさせる。
913オ	ぼくのお姉さん	丘修三	信成社	障害のある子供たちの目で描かれていることを捉えさせ、ともに生きるとはどういうことか考えさせる。
723ホ	あなたの手のひら	星野富弘	信成社	不慮の事故による障害を負いながらも、新たな希望をもった星野さんの生き方に触れる。
723ホ	遙さのちがう時計	星野富弘	信成社	不慮の事故による障害を負いながらも、新たな希望をもった星野さんの生き方に触れる。
723ホ	鈴の鳴る道	星野富弘	信成社	不慮の事故による障害を負いながらも、新たな希望をもった星野さんの生き方に触れる。



生まれながら障害をもつ子供達や日常生活の中での事故による障害、人間だけではなく病気による生命の危機等を含み、「生きる」ということを改めて捉えてほしいと願い、描いたリスト。  
 中・高学年向き  
 まず、『さっちゃんの家ほうのて』『いのちは見えるよ』を読み、障害をもった生まれることがあることを知る。  
 そのあと、様々な病気や障害を抱えながら生きる人々のことを捉えさせたい。『筋ジストロフィーとたたかうステファン』『小児脳麻痺とたたかうジョニー』『やあ、すてきなななまたち!』『トピアス』シリーズを読み、障害とたたかう子供達やヘレン・ケラーや乙武洋匡さん、辻井伸行さんについて知る機会とする。  
 次に、生まれながらの障害ではなく、事故による障害で手足の自由が利かなくなった星野富弘さんについて知る。口で絵を描くことに生きる意味を見出した星野さん。その障害から星野さんの思いを感じ、好きな絵を描き写す。  
 これらの本の障害により、生きていくことについて考えたことをまとめたり、一人の人の生き方についてまとめたりする。本を使いながら、紹介することも考えられる。

いのちってなんだろう～みんなでかんがえよう つたえよういのち～ 本のリスト

人間と動物のかかわるいのち (今西さんの本も含む)

請求番号	書名	著者名	出版社	備考
Eカ	みんないきてるみんなでいきてる!	エリック・カール	信成社	自然環境と人間生活のかかわりを考える。
Eム	海にかえった4頭のクジラ	ジェルミ・エンジェル	小嶋啓秀	野生の生き物を助けようとする人々の行動力のすばらしさを捉え取る。
Eテ	むったんの海	寺田志穂里	くもん出版	助け合いながら生きる海辺の生き物たちの様子を捉え取る。
645イ	命のバトンタッチ	今西乃子	フォア文庫	右目、後ろ足も切られた子犬。星野の下で育ていく様子から、いのちに責任をもつとはどういうことか考えさせたい。
489イ	およげなかったカバ「モモ」	伊藤雅男	研日本出版社	陸で生まれたカバの「モモ」。飼育員が一生懸命育て、母のもとに帰す。
Eワ	クジラのハンフリー	ウェンディ・トクダ リチャード・ホール 末百咲子	国土社	クジラが海岸に打ち上げられてしまう。町の人々は協力してクジラを海に帰そうと努力する。



\*このリストには載せていないが、今西さんの本はたくさんそろえてある。むなっこタイムでも読み聞かせを行う。



人間と動物はどうかかわって生きていくべきなのかを考えさせたいと思いついたリスト。  
 動物にも人間と同じように大切にされるべきいのちがあり、そのいのちを大切に育てていこうという人々がいる。その一方で、動物のいのちを軽んじる人々もいるのが現実。  
 これらのことを知り、自分は動物とどうかかわって生きていくのかを改めて考えさせたい。今西さんの「いのちの授業」と一番関連させやすい小テーマではないか。  
 級う本により、全学年で扱い可能なテーマ。